大仙市立　西仙北中学校

夢咲かせよう　立志の丘で

学校通信

平成２７年１月１日
地域ダイジェスト版
(No.28～No.32)

新年あけましておめでとうございます

旧年中は，地域の皆さんにおかれましては，西仙北中学校のためにご支援,ご協力いただき，誠にありがとうございました。4月から12月の最後まで充実した９か月間でありました。本年もよろしくご厚誼のほどをお願い申し上げます

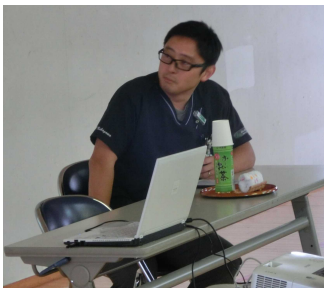
さて，新年第一号地域ダイジェスト版をお送りいたします。

秋田県がん予防授業

11月12日(水)，午後からの２時間，３年生が「秋田県がん予防授業」を行いました。

講師は，大曲更生医療センター呼吸器外科科長中川拓　先生です。

はじめに，全員で授業のあいさつをし，それから校長が講師の先生を紹介しました。



中川先生がすぐに自己紹介をされ，娘さんが桜中学校の吹奏楽部で，県大会は金賞が取れなかったという話をされたときに，本校の吹奏楽部員には大きな反応がありました。

がん予防について，ぞうさんの家族のアニメ，それからがんについての知識や情報についてのアニメを見ながら，がんに対する新しい世界が開けていきました。

アニメと先生の説明が終わってから，実際に直腸がんを体験され，手術をし，現在人工肛門を付けておられる方の体験談を聞きました。

５分間の休憩の後，今度は資料を配布され，その資料に基づいて学習が進められました。

ステップ１　最初に，自分の好きな人（大事な人）の好きなところや良いところを１枚の紙にたくさん書きます。

ステップ２　その書いた部分に×をつけます。（え～～っという声が生徒から出ました。）

×をつけた人が亡くなったら，あなたはどう思いますか？３分間目をつぶって想像してみてください。

ステップ３　あなたの大切な人が「がん」で亡くなってしまわないために，あなたは何ができるでしょうか？

このステップ３について考え，最後に４人のグループになって意見交換をします。

次の意見が相当数出ました。

・がんについて知ってもらう。
・たばこを止める。
・食生活に気をつける。
・運動を促進する。
・検診を受ける。

おもしろいところでは，「私の将来の奥さんに対して女性がん検診を受けるのはつらそうだから『がん検診デート』を勧めます」でした。

全部終わってから質疑応答では，「私たちの世代からもがんになることはありますか？」という質問が出ました。中川先生は「とてもよい質問です。小児がんというがんがありますが，これは本日話したがんとは異なります。しかし，15歳からもがんがあることは事実です。」と回答されました。

最後に，本間紗斗さんが，代表で感謝の言葉を述べました。

「自分は，がんは恐ろしくて，怖い病気だと思っていましたが，今日の学習で，その中身を詳しく知ることができて良かったです。そして，本日帰ったら家の人に，今日のことを話し，検診を受けることや，適度な運動をすること，などについて話してみたいです。今日は本当にありがとうございました。」

終わってから校長室で中川先生とお話をしました。本校では２年前に膵臓がんで亡くなった先生がいて，そのことをイメージした生徒も多かった，ということ，そして，このがん予防授業は，病気の学習ではあるけれども，根幹をなすものは，相手を思いやる心，家族愛や友情について考える授業なのだと，二人で納得しました。

中川先生，そして体験談を話してくれた菅様，貴重な学習をありがとうございました。

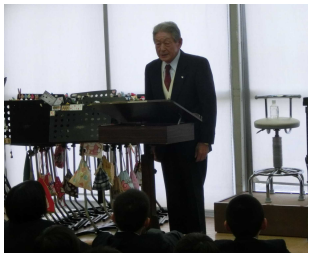
第２回土川公民館まつり

１１月２３日(日)，土川公民館で第２回土川公民館まつりが行われました。その会に本校吹奏楽部１・２年生（１９人）が招待され，午後１時からのステージで観客の皆さんに感動を与えてくれました。わずか30分間のステージ演奏でしたが，お客さんと一体となった演奏会で，最後にはアンコールがかかり，時代劇メドレーから一曲を再び演奏しました。

詩吟の会

11月25日(火)，6校時の時間，２年生を対象に「苅柴吟詠会（かりしばぎんえいかい）」の会員４

名が本校を訪問し，詩吟についての紹介並びに指導をしてくれました。
　はじめに，菅原さんより，詩吟の成り立ち，「春暁（しゅんぎょう）　孟浩然（もうこうねん）」を吟じてもらいました。そして，春暁について一緒に吟じてみましょう，ということで，菅原さんが最初に吟じ，引き続き生徒が吟じました。ここで分かったことは，詩吟には楽譜にあたる「吟譜（ぎんぷ）」があり，漢詩や俳句，詩の題名を「吟題（ぎんだい）」ということでした。



　初めて，耳にする詩吟でしたが，講師の先生方のそれぞれの思いが伝わってきました。
　配布資料の「絶句」以外の四編について，一人ずつ吟じていただきました。学校教育では，漢詩や俳句，詩には出会う機会が多々ありますが，それを吟じる機会はなかなかありません。貴重な体験をさせていただきました。
　感想発表生徒４名も，初めて聞いて，詩吟がどういうものか感じがつかめた，と述べていました。
　後日，放課後の廊下で詩吟をうなる生徒がいました。かなり印象的な会だったと推察いたします。吟詠会の皆様，ありがとうございました。

　詩吟で紹介された漢詩・俳句・和歌を紹介します。

春暁（しゅんぎょう）　　**孟浩然**

春眠暁を覚えず
処処啼鳥を聞く
夜来風雨の声
花落つること知る多少

川中島～不識庵機山を撃つの図に題す～〈頼山陽〉
　（かわなかじま　～ふしきあんきざんをうつのずにだいす～〈らい さんよう〉）

　鞭聲肅肅夜河を過る
　　べんせい　しゅくしゅく　よるかわをわたる
　曉に見る千兵の大牙を擁するを
　　あかつきにみる　せんぺいの　たいがをようするを
　遺恨十年一劍を磨き
　　いこん　じゅうねん　いっけんをみがき
　流星光底長蛇を逸す
　　りゅうせいこうてい　ちょうだをいっす

白鳥は　若山牧水
　白鳥は哀しからずや空の青
　海のあをにもそまずただよふ

花の雲　芭蕉
　花の雲　鐘は上野か　浅草か
　　鐘は上野か　浅草か

新企画　朝の集会

　11月26日(水)の定例朝全校集会では，生徒会執行部が，生徒会長選挙の際に公約に掲げた「あいさつ」の飛び交う学校を具体化するために，「新あいさつ運動」を企画しました。
　生徒会長から説明があり，実際にステージに執行部が上がって，やり方を説明しました。

　最初に，リーダー(呼びかける人）を中心に輪になります。リーダーがその輪の生徒たちに呼びかけます。
　「おはようございます」と呼びかけると全員が「おはようございます」と答えます。
　「こんにちは」「こんにちは」
　「さようなら」「さようなら」
　「ありがとうございます」「ありがとうございます」
　「失礼します」「失礼します」

　これが終わるとリーダーが一人一人の名前を呼びます。名前を呼ばれた人は元気に「はい」と返事をします。
　全員の名前が呼ばれて，返事が終わると「あいさつ運動」の１クールが終わります。
　時間いっぱい，これを繰り返し，各学級の生徒会執行部が一番よかった班を壇上に上げて，模範をしめしてもらう，というのが来週行われるようです。
　形から入るあいさつ，ですが，あいさつをするときにきちんと頭を下げて「礼」をしている生徒がほとんどです。言葉は単なる言葉ではなく，その言葉に伴った態度が身についていることが分かりました。「あいさつ」を何度も繰り返すことによって，心が少しずつ豊かになっていく様を見ることができました。

国立教育政策研究所　指定
教育課程　美術　公開授業研究会

　12月2日(火)，標記公開授業研究会を行いました。前日までの小春日和はどこへやら。当日は，天気予報通りの大寒波来襲。その寒波のせいで，交通機関が乱れ，静岡県から来る予定だった先生が，午後の授業の最後５分前に到着したそうです。新幹線の遅れのためだったようです。
　その寒波にもめげず，２年生の各学級は期待以上の授業を行ってくれました。
　最初に，午前中，国立教育政策研究所調査官や県の指導主事をお迎えして，２年Ａ組で授業を行いました。午後の公開授業研究会の内容と同じ授業です。
　内容は，「ふるさと再発見！創作和菓子をつくろう」です。場所は美術室でした。
　ワールドカフェスタイル(グループが次々と机を回って意見交換を行います。本当のスタイルは一人が残って，前のグループの考えをまとめていきます。)を模した方法で，３回，春夏秋冬の四季からイメージする「西仙北のよさ」を鉛筆で机の真ん中にあるワークシートに書いていきます。春と言えば，・・・・・夏と言えば・・・・・・，など４人がめいめいの思いやアイデアを書きます。
　次に，そのワークシートに書かれてある言葉を色鉛筆から好きな色，あるいはイメージする色を

取り出し，〇で囲みます。最後に，自分の好きな季節からイメージした和菓子の絵や言葉を書いていきます。このときに，助かったのは昨年の先輩たちの作品や，材料となるものを実際に手にとって見ることができたことです。

自分の頭のイメージはできているのだけれども，それを友達に言葉で伝えられなくて，悩んでいる男子生徒がいました。彼は，他の友達に自分の思いを伝えようとするのですが，言葉では無理で，紙を折って伝えました。でも友達は「何が言いたいの？」と聞き返します。悩み抜いたあげく，最後は，自分の思いを絵に表すことができました。

いよいよ午後の研究会。２年Ｂ組の授業です。場所は多目的ホールです。参観者の数は，およそ70名くらいでしょうか。この大人数にも負けずにＢ組の生徒は生き生きと自分たちのイマジネーションを働かせました。

Ｂ組では，先輩たちの作品の他に，「秘伝の書」という虎の巻が田中先生から提示され，生徒はそれに群がり，見ていました。授業の最後に振り返りがありましたが，次の男子生徒の意見が印象的でした。

「雪は，大人たちにとって，ああ嫌だなあ，と思う部分があるかもしれませんが，雪の結晶はきれいで，見方によっては雪もイメージがよくなると思います」

参観された先生方の感想を抜粋して掲載します。

・発想・構想という興味深い場面をワールドカフェスタイルというとても面白い手法で深めていくという，大変参考になる授業を見せていただきました。ありがとうございました。
・子どもたちの表情が明るくリラックスした感じがよくて，とても楽しく見させていただきました。
・クラスの雰囲気がよく，一人一人楽しんで活動しているようだった。
・ワールドカフェで，グループ移動していくため新しい発見ができるのがよかった。
・大きなワークシートに言葉を発しながら書き込んでいた。そこからイメージをふくらませていてよかった。席の工夫で４人の学び合いになっていた。女子がカラスをオレンジで囲んだ。「夕日」からイメージしたという説明で他の生徒が納得していた。お互いの考えを理解していてよかった。

この後，約９０名の参加者で，美術の調査官の講演を聴きました。熱のこもった講演で，時間があっという間に過ぎました。

遠くからお越しの皆様，また県内の皆様には，ご来校いただき，誠にありがとうございました。

ＰＴＡ授業参観「情報モラル教室」

12月3日(水)はＰＴＡ授業参観で，全校生徒と親御さんが一堂に会し，千葉薫氏（秋田県教育委員会インターネットセーフティ推進会議委員　コンピュータ・アシスト・デベロップメント有限会社　代表取締役）を講師として「情報モラル」について研修しました。研修内容は，次の事柄です。

情報モラルについて「最近の多いトラブル」

・友達同士のプロフのはずが，みんな知っている。
・間違いメールを親切に教えてあげたら，大量の迷惑メール。
・無料のはずのネットゲームで高額請求。
・ネットストーカー。
・写真から場所が分かる。
・好きなコミックをネットで紹介したら警察が。
・インターネットの百科事典で調べたら，テストで間違いに。

「写真から場所が分かる」では，総務省のビデオで，知らない女子生徒が公園で踊っているのを隠し撮りし，それをネットにアップした中１男子が，今度は自分が特定されて，にっちもさっちもいかなくなる，という内容でした。些細（ささい）なことから，おおごとになり，最後は自分の首を絞めてしまう，という事例でした。

講演が終わってから，３人の生徒に感想発表をしてもらいました。

◇３年生　嵯峨千優さん

インターネットや携帯電話は楽しいのですが，使い方を間違うと危険だということが分かりました。トラブルが起きてから，知らなかったでは済ませられないことなので，安全に使いたいと思いました。

◇１年生　佐々木海智さん

ネットは楽しいと思っていましたが，一つ誤ると怖いということが分かりました。安全な使い方を心がけていきたいです。

◇２年生　鈴木遥菜さん

私はＳＮＳを使っているので，これからも安全に利用していきたいと思いました。

国際教養大学　留学生　来校

12月5日（金），異文化交流で国際教養大学から６名の留学生が本校を訪問しました。

アメリカ人男性２名，チェコ人男女１名，ルーマニア女性１名，そしてブルネイ女性１名です。

４時間目は，2年Ｂ組の英語で，自己紹介の後，６つのグループになり，１グループに留学生一人が入り，決められた時間が来たら次のグループに留学生が回る，というスタイルで行いました。生徒たちは，自分の好きな物や自分の部活動を紹介して，留学生とコミュニケーションを取っていました。

お昼は，３年生の教室に２人ずつ入って一緒に給食を食べました。

５時間目は２年Ａ組，６時間目は１年生全体と交流

しました。
　６名の留学生は，休み時間も校長室に戻らず生徒と一緒に話していました。４時間目が終わってから３年生の学級に行って，そのまま給食を食べ，休み時間も３年生の学級で過ごし，５時間目が始まる少し前に職員室に来て，その足で２年Ａ組へ。さすがに，５時間目が終わった時点で，校長室に休みに来ました。

　最後は，多目的ホールで１年生全体と交流しました。漫画や音楽，好きな食べ物など，質問攻めにあったそうです。日本の漫画はあまりよく知らないし，ミュージシャンも少ししか知らないので，ほとんど「I don't know」だったと言っていました。
　全て終えてから校長室に戻ってきた６人の留学生の感想は「疲れた・・・」でした。そして，１年生が元気ですごかった，と話していました。
　教養大学の留学生の皆さん，ありがとうございました。

２年Ｂ組　音楽　校内授業研究会

　12月８日(月)，３校時目に2年Ｂ組で音楽の研究授業が行われました。

　授業の学習課題は，ベートーヴェン作曲交響曲第５番運命の冒頭にある「ジャジャジャジャーン」で，「ジャジャジャジャーンの謎を解き明かせ！」でした。
　最初に，アルト笛で，曲の最初を３グループに分かれて演奏しました。
　指揮者が藤澤先生だと，皆さん上手に出ることができるのですが，生徒指揮になると戸惑います。なぜ，戸惑うのだろう，というところから，学習課題が生まれてきました。
　アルト笛で運命を演奏できるなんて，とても素敵な一時間だと思いました。
　授業が進むに連れて，「運命」の動機である「ジャジャジャジャ」の部分が「楽譜の中にどれだけあるのだろう」を全員で探すのが課題となりました。これはかなり難しくて，時間もとても長くかかりました。最初に１５個くらい，と答えたグループがありましたが，先生が「そんなに少ないかなあ？」と応え，生徒たちは更に，数えました。各グループからは，43個，45個，30個などおよそ３０個から40個台までの数が出てきました。

　そして，この「ジャジャジャジャ」が何度も出てくるのはなぜか，曲想についてもう一度考えてみると，などと考えを深め，自分なりの結論を出しました。
　生徒の振り返りシートを見ると，「この音があることで，最後まで飽きずに聞くことができる」「曲には根拠があることが分かった」「曲の最後の方を盛り上げるために，最初よりも楽器を多く使用している」などがありました。
　運命交響曲の謎に没頭した一時間でした。

◎　全県新人卓球大会及び全県ソフトテニス１年生大会
　11月15日(土)に行われた全県新人卓球大会個人戦は，星宮朋貴さんが1回戦3-2で勝ち，2回戦シード選手に0-3で惜敗，田口輝さんは2回戦3-2で勝ち，3回戦シード選手に0-3で惜敗でした。
　また，全県ソフトテニス１年生大会は，２組のペア佐藤愛美・加藤みなみ組(大曲仙北第３位)，京極綾香・佐々木輝蘭組（大曲仙北ベスト８）がともに1勝2敗で予選リーグ3位で，決勝トーナメント進出はありませんでした。

◎　第３４回　誠和会秋田支部空手道選手権大会
　11月16日(日)に横手市で行われた標記大会で，本校の阿部真己さんが次の栄誉に輝きましたのでお知らせします。
・　**中学生男女　形の部　優勝　阿部真己さん**
　　１回戦　　５－０　で勝利
　　準決勝　４－１　で勝利
　　決　勝　５－０　で勝利，優勝！
・　**中学生男子 組手の部 第３位 阿部真己さん**

◎　草弥杯バレーボール大会　ベスト８
　11月22日～23日仙北ふれあい体育館
・予選リーグ　１勝１敗
　西仙北●０(20-25,19-25)２〇豊成
　西仙北〇２（25-19,22-25,25-20)１●平和
・決勝トーナメント一回戦（準々決勝）
　西仙北●０(10-25,16-25)２〇太田

◎　バスケットボール優秀選手奨励賞
本間紗斗さん　受賞おめでとうございます。
　11月22日，23日に今年度の秋田県新人中学校バスケットボール大会が秋田市で開催されました。2日目に，本校の**本間紗斗さん**が，秋田県バスケットボール協会から，優秀選手奨励賞を受賞しました。

◎人権に関する作品　「協議会長賞」
　2年　鈴木　花歩　さん

◎　税に関する作文　大仙市長特別賞
　１年　佐藤　瀬奈　さん　「秋田県税について」
　３年　朝田　麟太郎　さん　「税について」
　３年　小笠原　未久　さん　「税金の使い道」

1月の学校行事

5(月)仕事始め，３年学習相談
6(火)3年学習相談
7(水)3年実力テスト
8(木)3年学習相談
9(金)3年学習相談，職員会議
11(日)美郷町オープン卓球大会(リリオス)
12(月)成人の日
13(火)冬季休業最終日
16(金)冬休み明けテスト，3年実力テスト
17(土)秋田県バレーボール冬季強化練習会(2年熊谷未羽)～18日
19(月)大綱講演会１年生
21(水)１・２年スキー教室(協和スキー場)
23(金)職員会議
26(月)専門委員会
28(水)中央委員会，公立高校前期選抜学力検査等実施日
30(金)綱よい(1年生)
31(土)郡市スキー大会～2日